

ニュースリリース

トヨタ・モビリティ基金/「タテシナ会議」分科会、東京科学大学と共同でシンポジウム「自転車が安全に走る社会へ 一自転車事故死傷者ゼロへの実践と展望 一」を開催します

2026.1.22

一般財団法人トヨタ・モビリティ基金(理事長:豊田章男、Toyota Mobility Foundation、以下「TMF」)は、交通事故死傷者ゼロに向けた議論と仲間づくりの場「タテシナ会議」分科会活動の一環として、国立大学法人東京科学大学と設置した「交通安全高度化協働研究拠点」が主催するシンポジウム「自転車が安全に走る社会へ 一自転車事故死傷者ゼロへの実践と展望 一」を2026年3月9日に東京科学大学大岡山キャンパスで開催します。

交通事故件数が減少傾向にある中、全体に占める自転車関連事故の割合は増加傾向にあります。自転車は身近な移動手段である一方、事故時の被害が大きく、交通安全上の重要な課題になっています。自転車は車に比べて小回りが利く反面、挙動が周囲から予測しづらく、自転車を運転する人に安全な行動を促す取り組みが不可欠です。そこで本シンポジウムでは、自転車の交通安全に資する多角的なアプローチを共有し、安全・安心な自転車社会の実現に向けた方向性を考えます。

<シンポジウム概要>

「自転車が安全に走る社会へ 一自転車事故死傷者ゼロへの実践と展望 一」

日時	2026年3月9日(月) 13:30-17:35
場所	東京科学大学 大岡山キャンパス 西9号館 デジタル多目的ホール
参加費	無料(事前登録制)

<プログラム>

招待講演①	「自転車の安全利用の促進に向けた取組について」 島根 雄高(警察庁 交通局 交通企画課 課付)
招待講演②	「自転車利用者の走行挙動分析に基づいた道路空間の再構築へ」 吉田 長裕(大阪公立大学 大学院工学研究科 准教授)
コーヒーブレイク	(ディスカッション・名刺交換等)
タテシナ会議 自転車・二輪分科会の活動について	土居 義晴(トヨタ自動車株式会社) 他
協働研究拠点の成果報告	吉武 宏(東京科学大学 工学院 機械系 特任准教授)

※ 詳細につきましては[こちら](#)をご参照下さい。

※ プログラムは、講演者の都合等で予告なく変更となる場合があります。



タテシナ会議

TOYOTA
mobility
FOUNDATION

＜事前登録＞

申込みフォームから事前登録が必要となります。

【参加登録】東京科学大学 トヨタ・モビリティ基金交通安全高度化協働研究拠点シンポジウム『自転車が安全に走る社会へー 自転車事故死傷者ゼロへの実践と展望 ー』

以 上

関連リンク・参考資料

企業の枠組みを超えた交通事故死傷者ゼロに向けた取り組み「タテシナ会議」の活動について | 活動内容一覧 | 一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金

トヨタ・モビリティ基金と東京工業大学、「交通安全高度化協働研究拠点」を設置ー 交通環境における人の行動等の研究を通じて、交通事故死傷者ゼロを目指す ー | 一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金

東京科学大学(旧東京工業大学)にて、「高齢者の安全・安心な移動・モビリティについて考える」と題したシンポジウムが開催されました | 一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金

お問い合わせ

トヨタ・モビリティ基金 タテシナ会議 協働拠点シンポジウム担当

お問い合わせフォーム

トヨタ自動車は創業以来、お客様、ビジネスパートナー、従業員、そして地域社会等、全てのステークホルダーを尊重しながら、自動車を通じた豊かな社会づくりを目指して事業活動を行なっています。そして、より公益的な活動を行うことを目的に、2014年8月、TMFを設立しました。TMFでは、モビリティを通じた豊かな社会づくりへの貢献に向けて、世界中で移動課題への対応をはじめとした幅広いプロジェクトに取り組んでいます。



TMFは、幅広いプロジェクトを通じて培った技術やノウハウを活用し、多様なパートナーとの協議を通して、国連が定めるSDGs(持続可能な開発目標)の考え方にも沿った活動を進め、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきたいと考えています。